



# 情報開示（ディスクロージャー）

大和証券グループは、あらゆるステークホルダーに対して、財務的・社会的・環境的側面の情報の公正かつ適時適正な開示を行い、積極的なコミュニケーション活動を行なっています。

## 情報開示(ディスクロージャー)における理想像と中期目標

大和証券グループは、「ディスクロージャー・ポリシー」に則り、証券業に携わる企業として、ほかの上場企業の模範となるよ

うな適時・適正な情報開示に取り組んでいます。

また株主・投資家を含むあらゆるステークホルダーに対して財務的・社会的・環境的側面の情報を含めた幅広い情報提供を行い、コミュニケーションの拡充を図っています。

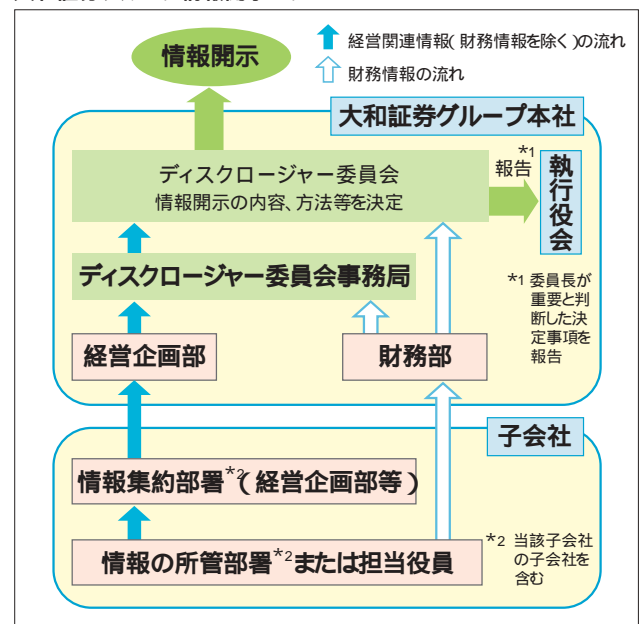
2006年度の課題・目標	2006年度の実施・進捗状況
投資家主体別IR体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京、NY、ロンドン、香港で機関投資家向けIR説明会を実施</li> <li>IR体制の拡充により、海外を含む機関投資家との個別ミーティングの件数が増加</li> <li>豪州および中東の機関投資家へのIR訪問を実施</li> </ul>
個人投資家向けIR活動の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京と大阪にて個人投資家向け説明会を開催</li> <li>個人株主数は減少したが、株主優待制度の充実により、優待への申込件数が前年比で増加</li> <li>個人投資家向けIRサイトを新設し、わかりやすいIR情報を充実</li> </ul>
ディスクロージャー関連規程のグループ内への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営関連情報連絡表を社内情報ネットワークに掲載</li> <li>経営関連情報の円滑な伝達に向けた体制整備のためのワーキングを開始</li> </ul>

## 情報開示の体制

大和証券グループ本社では、「ディスクロージャー・ポリシー」を実現するため、「ディスクロージャー規程」を制定しています。同規程のもと、情報開示に関する最終的な意思決定は、「ディスクロージャー委員会」が担っています。

また、各グループ会社では、それぞれ「経営関連情報管理規程」を制定。社内ネットワーク上に経営関連情報連絡表を掲載するなど、グループ各社での情報収集とグループ本社への報告が確実に行われ、グループ全体としての統一した情報開示を実施するための体制を整えています。

大和証券グループ情報開示のフロー



## ディスクロージャー・ポリシー

当社は、株主・投資家、地域社会を始めとするあらゆるステークホルダーの当社に対する理解を促進し、その適正な評価のために、当グループに関する重要な情報(財務的・社会的・環境的側面の情報を含む。)の公正かつ適時・適切な開示を行います。当社は、証券取引法、その他の法令及び当社の有価証券を上場している証券取引所の規則を遵守します。当社は、内容的にも時間的にも公平な開示に努めます。当社は、説明会、電話会議、インターネット、各種印刷物を始めとするさまざまな情報伝達手段を活用し、より多くの投資家の皆様にわかりやすい開示を行うよう努めます。当社は、情報開示にあたって、常に証券市場を担う立場にあることを意識し、他の株式上場企業の模範となるよう努めます。これらの精神を実現するために、当社はディスクロージャー規程を制定し、ディスクロージャー委員会の設置や当グループの情報開示の方法等を定めています。

## さまざまなツールによる情報開示

財務的・社会的・環境的側面の情報を開示するという方針のもと、さまざまなツールによる情報開示を行なっています。こうした情報開示への取組みが評価され、『持続可能性報告書2006』が財団法人 地球・人間環境フォーラムの「第10回環境コミュニケーション大賞」持続可能性報告書部門で「優秀賞」を、東洋経済新報社の「第10回環境報告書賞」のサステナビリティ報告書部門で「優良賞」を受賞しました。

## 株主、投資家とのコミュニケーション

### 個人投資家への取組み

個人投資家とのコミュニケーションを重視する方針のもとに、個人投資家への情報開示をより充実させるため、2006年6月より個人投資家向けIRサイトを開設し、事業内容や戦略などについてわかりやすく情報を発信するよう努めています。

また、2007年2月には個人投資家向け説明会を東京と大阪で行い、合計で約1,020人の個人投資家に、グループ本社執行役社長の鈴木茂晴が経営方針などを説明しました。

### 個人投資家向けCSR説明会を開催

2007年4月、個人投資家を対象としたCSRセミナー「投資の新潮流 持続的成長企業を探る」を開催しました。当日は410名のご出席があり、個人投資家のCSRに対する関心の

高さがうかがわれました。

セミナーでは、大和総研の河口主任研究員の基調講演「注目を集める企業の社会的責任」に続き、大和投信のファンド・マネージャーが「SRI運用の実際」、大和証券グループ本社CSR室スタッフが「大和証券グループのCSR活動」について講演しました。質疑応答では多数の質問が寄せられ、大変熱心にご聴講いただきました。なお、この説明会の模様は下記URLにてご覧いただけます。

[http://www.daiwair.co.jp/individual/csr\\_report/20070416/index.html](http://www.daiwair.co.jp/individual/csr_report/20070416/index.html)



個人投資家向けCSR説明会

▶ **WEB参照** 機関投資家への取組み

### 株主総会での取組み

株主との直接のコミュニケーションの場である株主総会により多くの方に参加していただくため、2006年より土曜日の開催としています。第70回定時株主総会(2007年6月23日実施)の出席株主数は1,550名でした。総会では、株主の方から従業員教育やリスクマネジメントに関する質問が出され、活発な質疑応答が行われました。株主総会後には、軽食をはさんで講演会を実施しました。また、総会の模様を同時衛星中継し、大阪、名古屋、札幌、福岡の会場にて合計850名の方にご覧いただきました。

### 株主アンケートの活用

株主の生の声を聞き、経営やIR活動の参考とするため「株主アンケート」を継続的に実施しています。2006年には、同アンケートでの株主の要望をもとに、個人投資家向けIRサイトを開設したほか、株主優待制度の充実を図りました。

▶ **WEB参照** 株主アンケート結果(2006年度)

## >> 2007年度の目標と主な行動計画

大和証券グループ内において情報開示に対する意識の浸透・向上を図るほか、今後はCSR、ガバナンス、企業文化といった非財務的な情報の開示を強化し、さらなる企業価値向上に努めます。